

千里ライフサイエンスセミナー M4 「脂質と免疫応答～シグナル分子としての役割～」

日 時：2018年11月20日(火)10:00～15:40

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F

山村雄一記念ライフホール

(地下鉄御堂筋線・北大阪急行千里中央駅北口すぐ)

コーディネーター：

審良静男(大阪大学免疫学フロンティア研究センター自然免疫学研究所特任教授)

成宮 周(京都大学医学研究科メディカル・イノベーション・センターセンター長)

演題・演者：

「生命応答における脂質の新機能：リン脂質代謝酵素群の網羅的ノックアウトからわかったこと」

村上 誠(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター教授)

「脂質認識免疫受容体ファミリーを介する生体防御応答」

山崎 晶(大阪大学微生物病研究所分子免疫制御分野教授)

「新規リゾリン脂質メディエーターリゾホスファチジルセリンの免疫抑制機能」

青木淳賢(東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野教授)

「2型自然リンパ球による疾患発症機構」

茂呂和世(理化学研究所 生命医科学研究センターチームリーダー)

「脂質の関わる皮膚疾患」

梶島健治(京都大学大学院医学研究科皮膚科学教授)

「炎症慢性化制御経路としてのプロスタグランジン経路」

青木友浩(国立循環器病研究センター研究所分子薬理部創薬基盤研究室室長)

趣 旨：

脂質は、生体膜主要構成成分であると同時に、それ自身またその代謝物が様々な生理活性を有する生理活性脂質として機能することが知られている。これら脂質の異常は、炎症、免疫病、生活習慣病、がんなどの疾患を惹き起こす。最近、免疫応答においても生理活性脂質がこれまで想定されていた以上に重要な役割を果たすことが知られるようになってきた。しかしながら、免疫応答における脂質の役割は、各々の研究者の所属学会において個別に発表されており、共通の場での議論があまりなされていない。今回、国内トップレベルの脂質研究者と免疫学者によって脂質と免疫に関する最新の情報が提供され、免疫応答・免疫疾患における脂質の重要性が包括的に理解されることを期待している。

参加費：無料

定 員：200名(定員になり次第締め切り)

申込方法：氏名・勤務先・所属・役職名・〒・所在地・電話を明記の上、E-mailでお申し込みください(Fax申し込み可)。事務局より「参加証」をお送りいたします。

申込先：セミナー M4 事務局

E-mail: dsp@senri-life.or.jp Fax: 06-6873-2002

主 催：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

Tel: 06-6873-2001

URL: <http://www.senri-life.or.jp/seminar/seminar-1-20181120a.html>